

平成31年4月5日

国土交通大臣
石井啓一 殿

商船三井客船株式会社
代表取締役社長 山口直彦

平素からの弊社業務に対するご指導に対し厚く御礼申し上げます。

さて、平成31年3月8日付け輸送の安全の確保に関する命令（国海安第228号）にて、弊社業務につき安全を阻害する事実のご指摘を頂きましたことを深く反省するところであります。弊社が是正改善のため講じる措置につきまして、一部速やかに対応致しましたものも含め下記の通り報告申し上げます。

記

（１）弊社が運航する船舶の乗組員に対し；

①操船技量向上のための定期的な教育、②飲酒管理規程の周知徹底のための定期的教育に向けた措置

①操船技量向上のための定期的な教育

・まずハード面の改善策としては、ジョイスティックと呼ばれる操縦桿の扱いにおいて錯誤を生じないよう表記の改善として、方向誤認を防ぐための表示（船形表示をレバーの根元に設置）を致しました。⇒2019年3月措置済み。

また、船首尾方向の誤認を防ぐために操船者の立ち位置をデッキ上に表示します。

操船者が必要とする情報である翼角、舵角、ならびに速度をモニター画面において遅滞なく確認できるよう表示方法の改良を進めます。

これらの改善点を踏まえた動作手順について船橋に配置されるすべての乗組員に繰り返し習熟させます。

・今般の操船ミスにおいては自ら操船していた船長と、それ以外の甲板部当直員、及び水先

案内人や曳船等関係者との間で意思疎通と動作確認を欠いておりました。これを改善するため、親会社である㈱商船三井の操船シミュレーターを用いたブリッジリソースマネジメント（BRM）訓練を船長以下甲板部職員全員に受講させます。（初回は４月２２日～２６日。以降、順次受講。）今後は、５年を超えない間隔で再受講させ、航海士から船長へ昇進時にも再受講させることといたします。

- ・安全統括管理者から今後の注意喚起を船長以下甲板部職員に実施しました。

- ・関連法規、寄港地のルール、並びに弊社安全管理規程にある運航基準、発航基準、入港基準、テンダーボート運用基準などの知識を徹底するため、e-learning 等による定期的な学習手段の導入を進めています。

- ・２月に㈱商船三井から BRM 研修受講済の船長１名の出向を受け、安全管理や運航技術について意見交換や知識の吸収を図っています。

②飲酒管理規程の周知徹底

- ・「飲酒管理規程」については、（３）の改正を加えたうえで、グループウェア（電子マニュアル）において日英並記とし、乗組員採用時はもちろん、休暇明けの乗船時には必ず上長から注意喚起をします。また日常的にリマインドされるようアルコール検知器の設置場所に常設掲示しています。

飲酒検査結果については、常に緊張感を維持できるようその記録を船内各部主任者で共有します。また安全統括管理者が定期的（月１回）に確認いたします。

⇒これらは 2019 年 4 月 1 日より措置済み。

- ・また、安全運航における飲酒規程の重要性を乗組員に理解してもらうため、アルコール専門医の講習を実施しました

日時：2019 年 1 月 25 日と 2 月 28 日

講師：国立病院機構久里浜診療センター医師

対象：日本人乗務員 82 名、外国人乗組員 76 名。

2019 年度以降は、対象を経営層を含む海陸職員全員に広げ、定期的に外部専門家を招いたアルコール教育を行います。アルコール依存傾向を未然に防ぎ、また早期に発見するため、講習におけるテーマは、①飲酒と操船、②飲酒と健康、③依存症についてとし、飲酒の短期的な影響のみならず常用化に伴うリスクを説明し、個別のカウンセリングの機会を設定します。⇒2019 年度中に新たに 2 回予定。うち一回は経営層と陸上社員も対象。

(2) 弊社が運航する船舶の乗組員の当直前アルコール検知器による検査実施、記録の保存、並びに酒気帯び状態の乗組員を航海当直に就かせないための措置

・本年2月より、それまで対面による異常の有無チェックに頼り、船内に一台しか設置していなかったアルコール検知器を、最新のなりすまし防止機能付きの機種4台に交換し、検査に漏れの生じないよう船橋、機関コントロールルーム、総合事務室、及びパーサー事務室に配置したうえで直ちに運用を開始しました。

これはPCと接続し、自らIDナンバーを入力してから検査することで、その結果数値は自動的に顔写真と共にデータとして保存されます。航海当直においては前直者との対面チェックを義務付け、その場で結果数値を確認することですり抜けを防ぎます。

万が一検査結果で酒気が感知された者がいた場合は、上長に報告し、当人は航海当直に就かせず、必ず前直者の延長か交代者の確保を図ることとし、これができない場合には本船の運航計画を変更することにします。結果は一日一回主任者が確認し、また船内で集計した結果は定期的に本社運航管理者にデータ送信することにします。検査で酒気が検知された者は何人であれ航海当直につかせませんが、すり抜けやなりすましの様な悪質な行為を試みるものに対しては厳罰に処します。

・アルコール検知器を用いた検査手順、記録の保存と報告、並びに対処内容については、安全管理システムの手順書の中で具体的に詳細を定めます。⇒これらについては2019年4月1日措置済み。

・予備機一台を総合事務室に置き、乗組員が個人的に、自身のアルコール耐性や分解能力を把握し、飲酒レベルについての当事者意識を高めるためにも使用できるようにしました。⇒2019年3月1日措置済み。

(3) 酒気帯び状態での航海当直を防止するため自ら実効性のある安全管理体制を構築するための措置

① 弊社が安全管理システムの手順書(Manual Personnel)の中で定めている薬物、飲酒、並びに銃器に関する規程の「飲酒管理規程」(Control of Alcohol Onboard)を改定しました。改定後の規定の要点は次の通りです。(2019年4月1日付け)

・アルコールポリシー

乗組員の乗船勤務における福利としての飲酒は、本船の安全維持に悪影響がない範囲において

のみ許可されることとします。

航海中、停泊中を問わず、また所属する部門や地位に関わらず、呼気1リットル当たり0.15mg (EAC)、血中濃度0.03% (BAC) 以上での勤務を禁止します。

また、航海当直は、酒気帯び状態でこれを行ってはならないとし、このため検知器を使った検査を義務付け、その具体的な手順、記録の保存と報告、並びに対処内容を定めました。当直後においても必要に応じて、検査を行うことを検討しています。

・船長や機関長への適用

船長や機関長など部門を率いる立場にある者に対しては高い意識を求めるのは当然であり、手順書において、業務開始時に前任からの引継ぎを要しない場合であっても、業務開始のタイミングで操舵室/機関室に居合わせる航海士/機関士による検査結果の確認と入直チェックリストへの検査結果記載を義務付けしました。また、勤務時間外であっても、予定にない入港等においては船長による船橋での操船指揮が求められることを踏まえ、一等航海士又は機関長は他の職員の立会いの下、船長にアルコール検査を実施することができることを明記しました。

② 弊社として、現在行われております「海運分野の飲酒対策に関する検討会」の結果を踏まえ、安全管理規程に修正を加えるべき点があれば速やかに必要な措置を講じます。また、安全統括管理者の責務としてアルコール教育や飲酒検査等の手順を明確にするとともに、これらに必要な体制整備を義務付けます。

(4) 飲酒対策に限らず、安全管理システムの有効性において、弊社ではこれまで十分に現場での問題提起や気づき、個々の乗組員が抱えているストレスや疑問点を吸い上げることができていなかったとの反省を踏まえ、安全管理体制の実効性を高めるため、以下の諸策を取ります。

- ① 経営トップが先頭に立ち海陸従業員に「社長メッセージ」等を通じて、弊社の安全運航を最優先する方針を伝え、開かれた、コンプライアンスを重視する経営姿勢を明確にします。⇒2019年1月以降3度にわたり「社長メッセージ」を発信、これからも随時行います。
- ② 上下関係の厳しい現場において、気になる事案や相談ごとを即座に吸い上げる企業体質とするため、既に設置済のコンプライアンス社外相談窓口（シティユーワ法律事務所 佐藤恭一弁護士が担当）への通報制度の周知を図ります。また、新たに2019年度からカウンセラーの巡回制度をスタートさせます。
- ③ 役職員の訪船や社員向け説明会などの機会を通じて、事故の大半は人的ミスに起因して

いることを理解させ、ヒヤリハット事例の展開や是正記録の共有など、継続的改善を基本とする自律的安全管理制度の考え方を浸透させます。

- ④ 内部監査制度の充実を図り、安全管理規程で定められている年に一度の監査に留まらず、抜き打ちの監査や親会社の協力を得て行う安全総点検の回数を増やします。

最後に飲酒の遠因としてのストレスに着目して、海陸従業員が精神的にもまた肉体的にも健康で、自己実現に向けたやりがいを感じることができるよう、今まで以上に健康管理に注意し、職住同一の本船における居住環境の改善、余裕を持った配乗を可能にする要員数の確保に努めてまいります。

弊社といたしましては、この度の事故、及び大臣より海上運送法第19条第2項にもとづく安全確保命令を受けたことを重く受け止め、今回書面にて報告申し上げた諸策を、確実に実施し、二度と同様の事故を引き起こすことのないように致しますので、引き続きのご指導、鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

以上